建築基準法第１２条第５項の規定に基づく

工 事 監 理 報 告 書（構造関係）

年　月　日

建 築 主 事 殿

代表となる工事監理者	事務所名		級建築士事務所（　　）登録第　　号
	所在地		TEL
	資格・氏名	級建築士　（大臣・知事）第　　号	
工事施工者	施工者名		建設業許可　（特定・一般）第　　号
	所在地		TEL
	氏名		
建築主	住所		TEL
	氏名		

下記の建築物は建築基準法並びに、これに基づく政令及び条例の規定に適合した施工を行い、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告します。

工事名					
建築場所					
確認年月日番号	年　月　日　第　号		構造計算	ルートⅠ-(　)、ルートⅡ-1・2・3、ルートⅢ、その他	
工事概要	構造種別	S・RC・SRC・	工事種別	新築・増築・	
	階数	地上　階・地下　階・PH　階	最高の高さ	m	軒の高さ　m
	建築面積	㎡	延べ面積	㎡	
確認通知後の設計変更（有・無）	年　月　日　第　号	内容1.			
	年　月　日　第　号	2.			
	年　月　日　第　号	3.			

コンクリート	普通	基礎	Fc:　18、　21、　24、　27、　N/mm²	基礎	支持地盤	支持力　KN／㎡
		～	Fc:　18、　21、　24、　27、　N/mm²		直接基礎　独立、連続、べた	液状化対策（有・無）
		～	Fc:　18、　21、　24、　27、　N/mm²		杭基礎	・打ち込み杭　・埋め込み杭（セメントミルク）RC、　PHC（A.B.C）、　鋼管 ・場所打ちコンクリート杭（拡頭、拡底、鋼管巻、BH、アースドリル、リバース、オールケーシング、深礎） ・異形摩擦杭 認定　・評定工法（　　） 認定　・評定　年　月　日　第　号
		～	Fc:　18、　21、　24、　27、　N/mm²			
	軽量		LFc: 15、18、21、　N/mm²．比重			
	PCa.		Fc:　N/mm² 杭 Fc:　N/mm²			

鋼材	鉄筋	SR. 235、295 SD. 295(A.B)、345、390	ガス圧接　有・無 （D　～　） 特殊継手　有・無	特殊材料・構法等 大臣認定　年　月　日　第　号 （認定内容　　）
	形鋼	SS. 400、490 SM. 400(A.B)、　490(A.B)、 SN. 400(A.B.C)、　490(B.C)、	工場溶接　有・無 現場溶接　有・無	建築センター評定　年　月　日　BCJ- （評定内容　　） 建築センター評価　年　月　日　BCJ- （評価内容　　）
	鋼板	STKR. 400、490. BCR295、BCP（　）		建築工事施工計画報告書及び結果報告書
	鋼線 鋼棒		導入時コンクリート強度 Fc:　N/mm²	計画報告書　年　月　日　第　号 結果報告書　年　月　日　第　号

記入上の注意　◎　提出及び記入は、原則として工事監理者によること。

※１監理者総合所見の欄は、監理目標とその結果に対する所見を具体的に記入すること。

※２工事監理組織の欄は、工事の監理体制を具体的に記入すること。

※３指摘事項と是正内容の欄は、工事監理者が検査を行い、指摘した事項とその是正内容を記入すること。

その他　●　施工写真、施工記録、データ（ミルシート、各種試験結果等）を添付すること。

●　鉄骨工事をともなう場合は鉄骨工事報告書を添付すること。

検査・確認事項を○で囲むこと

1. 設計支持地盤を確認した。（　　層）
2. 基礎杭の品質、位置（偏心距離　　）、径、長さ、本数、及び支持力を確認した。
3. 基礎の形状、配筋の本数及び配置を確認した。
4. 柱・梁の形状、主筋径、本数及び配置を確認した。
5. 帯筋、あばら筋の形状、鉄筋径、本数及び間隔を確認した。（副帯筋、副あばら筋を含む。）
6. 柱・梁の主筋の定着、継手及び位置を確認した。（ガス圧接、特殊継手、　　）
7. 壁主筋の径、間隔、定着、継手及び位置を確認した。
8. 床板及び階段の厚さ、主筋径、方向、間隔、定着、継手及び位置を確認した。
9. 構造スリットの位置及び形状を確認した。
10. 設備配管等の位置を適正に行ったことを確認した。
11. 梁、床、壁の貫通箇所の位置及び補強を確認した。
12. 型枠寸法並びにかぶり厚さを確認した。
13. 打設後の養生（型枠のせき板、支柱の取りはずし等）を適正に行ったことを確認した。
14. プレキャスト・コンクリートの品質、強度を確認した。
15. プレキャスト・コンクリートの接合方法等を確認した。
16. エキスパンション・ジョイントの位置及び間隔を確認した。
17. コンクリートブロックの種別（A・B・C）及びブロックの厚さを確認した。
18. コンクリートブロック壁のタテ筋、ヨコ筋、端部筋の本数、定着及び継手を確認した。
19. 使用するコンクリートの受け入れ検査を行い、所要のワーカビリティ、強度、その他の性能が得られたことを確認した。
20. 下記の品質、強度を以下の方法により検査、確認した。

コンクリート	〔現場水中養生した供試体の四週圧縮強度試験、	〕
	〔塩分測定、	〕
鉄筋	〔ミルシート、引張試験、	〕
鋼材	〔ミルシート、引張試験、	〕
ガス圧接	〔引張試験、非破壊検査、	〕
杭	〔	〕

21. その他

検査箇所	検査月日	※3　指　摘　事　項（要写真）	是正月日	※3　是　正　事　項（要写真）

※1 監理者総合所見		※2 工事監理組織	